

# Reduce

— 使い切る — P8



整理された冷蔵庫

# Reuse

— 必要な人へ — P9



食品などを必要とする人へ配布する「こどもみらい」の皆さん

# Recycle

— 資源へ利用 — P8~9



生ごみをたい肥にするコンポスト

# で食品ロス

## 食品ロスについて知ろう

### 食品ロスとは？

食べられるのに捨てられている食品のこと。  
日本では、年間522万トン（令和2年度推計値）以上の食品ロスが発生しています。  
食品ロスの中には、手付かずの状態ですべて捨てられている食品もあります。  
このように食品ロスとは？なぜ食品ロスが発生するのか？を多くの人に知ってもらうことが食品ロス削減につながります。

### 食品ロスの約半分は家庭から

日本の食品ロス量 年間522万トンのうち、247万トンは家庭から発生しています。  
日本人一人当たり換算すると、年間約50kg、毎日お茶碗約1杯分（約140g）の食べものを捨てている計算になります。  
食品ロス削減のためには、家庭での取り組みが重要です。



捨てられた手付かずの食品例 ~京都市提供~

#### 捨てられやすい食材

- 1位 主食(ごはん、パン、麺類)
- 2位 野菜
- 3位 おかず

#### 捨ててしまう理由

- 1位 食べきれなかった
- 2位 傷ませてしまった
- 3位 賞味・消費期限が切れていた

平成29年度徳島県における食品ロス削減に関する実証事業の結果より

● 問い合わせ 環境課 ごみ減量推進係 (☎内線361・362)

出典：消費者庁  
啓発用パンフレット／基礎編  
(令和元年10月版)を加工して作成

# ごみを削減しよう

# 生ごみはダンボールコンポストで資源へ

生ごみを減らし、たい肥（資源）に変えることができるダンボールコンポストに取り組んでみませんか。

- コンポストセット ・基材 ・ダンボール ・布カバー
- 販売場所 太宰府市役所売店  
NPO法人太宰府障害者団体協議会  
(とびうめアリーナ横)
- 価格 850 円  
※基材とダンボールのセットは 500 円



## Recycle

資源へ利用



# How to? 学ぼう! ダンボールコンポスト講座

- 日時 10月27日(木)午後2時~3時30分
- 場所 太宰府市文化ふれあい館実習室IA
- 定員 10人
- 主催 ・NPO法人太宰府障害者団体協議会 ・太宰府市市民生活部環境課
- 申込方法 電話(環境課 ごみ減量推進係 ☎内線361・362)

## 過去に受講しました



▲ダンボールコンポストに取り組む水城ヶ丘の中川さん(写真右)と植村さん(左)  
近所に暮らす2人は20年前にダンボールコンポストを始めました。始めてからは週2日出すもえごみから生ごみがなくなり、カラスによる被害もなくなったそうです。  
上手に発酵させるコツは、毎日よく混ぜることと油を入れること。お茶の葉を加えることで虫の発生を抑制する対策にもなります。こうしてダンボールコンポストで作られた栄養たっぷりのたい肥をもとに作物を育てています。今年も立派な夏野菜が収穫できました。

# 食品ロスを出さない

## 食品ロスを減らす行動をしてみよう

**食品の期限表示を正しく理解する**  
食品の期限表示は、「消費期限」と「賞味期限」の2種類があります。いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。  
**消費期限**は、「食べても安全な期限」、**賞味期限**は、「おいしく食べることができる期限」です。  
**賞味期限**は、過ぎてもすぐに廃棄せずに自分で食べられるかどうかを判断することも大切です。

**消費期限と賞味期限のイメージ**

通常、消費期限及び賞味期限は「年月日」を表示しますが、賞味期限を表示すべき食品のうち、製造日から賞味期限までの期間が3か月を超えるものについては、「年月」で表示することが認められています。

**食品ロス削減に効果的な方法**  
ご家庭からの食品ロスを計量し、記録するだけでも気付きが得られます。また、以下の取組も有効です。  
まずは一週間、記録してみましょう。記録様式はこちら。

- 使いきれぬ分だけ買う。
- 家にある食材・食品をチェックする。
- 肉や魚の保存方法を工夫する。

平成29年度消費生活における食品ロス削減に関する実証事業の結果より

**調理で作りすぎない 余ったら作り替える**  
もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくはQRコードへ

料理レシピサイト「クックパッド」内の「消費者庁のキッチン(公式ページ)」

## Reduce

使い切る



出典：消費者庁

# みんなで持ち寄ろうフードドライブ

家庭で使いきれない未開封の食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体に寄贈しています。食品ロスを減らす効果のほか、生活が困難な人を支援することへ繋がると期待されています。

## Reuse

必要な人へ

- <受け取り箱を太宰府市役所に設置します>
- 日時 10月24日(月)~28日(金)
  - 場所 太宰府市役所1階
  - こんな食品をお持ちください (例) パスタ、米、レトルト食品など  
未使用・未開封のもの、賞味期限が1カ月以上残っているもの
  - 受付できない食品 開封されているもの、冷凍・冷蔵商品など

食品はどうなる??  
フードドライブで集まった



期間中、受け取り箱を太宰府市役所に設置し、集まった食品はふくおか筑紫フードバンクに寄付します。



フードドライブで集まった食品などはエフコープ太宰府支所に持ち込まれ、子ども食堂などの登録団体へ仕分けられます。



仕分け作業は、毎月1回行われています。令和3年度は福岡県全体で、472トンの食品などが集まりました。



ボランティア団体の人たちの協力により仕分けを行い食品などを必要とする家庭へ提供されています。